



固定長アダプタご紹介

2021年8月版

株式会社セゾンテクノロジー

製品概要

DataSpider Servista	DataSpider Cloud
○	○

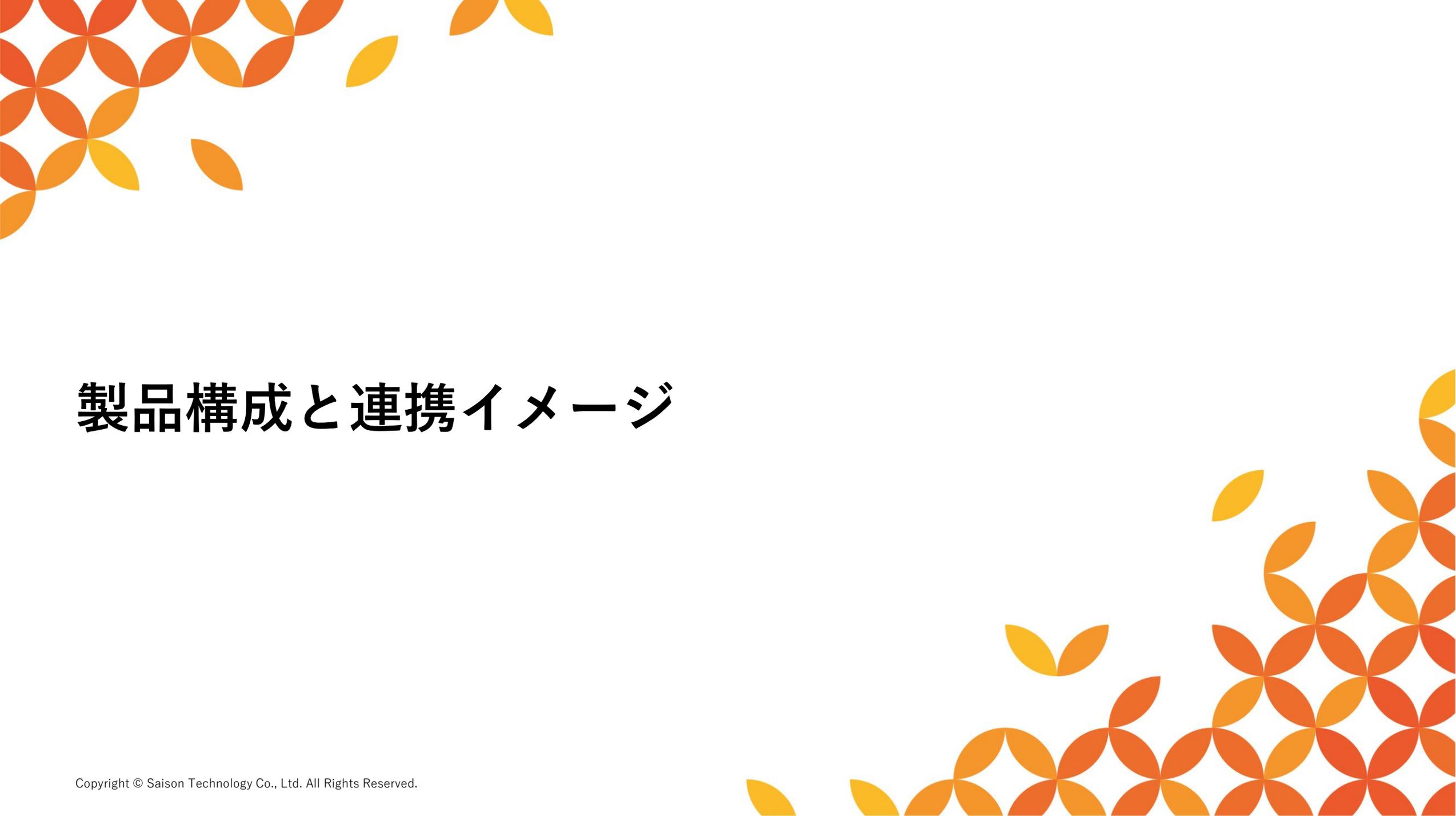
○ …提供あり / — …提供なし

固定長 アダプタとは

固定長形式のテキストファイルを読み書きすることができるアダプタです。

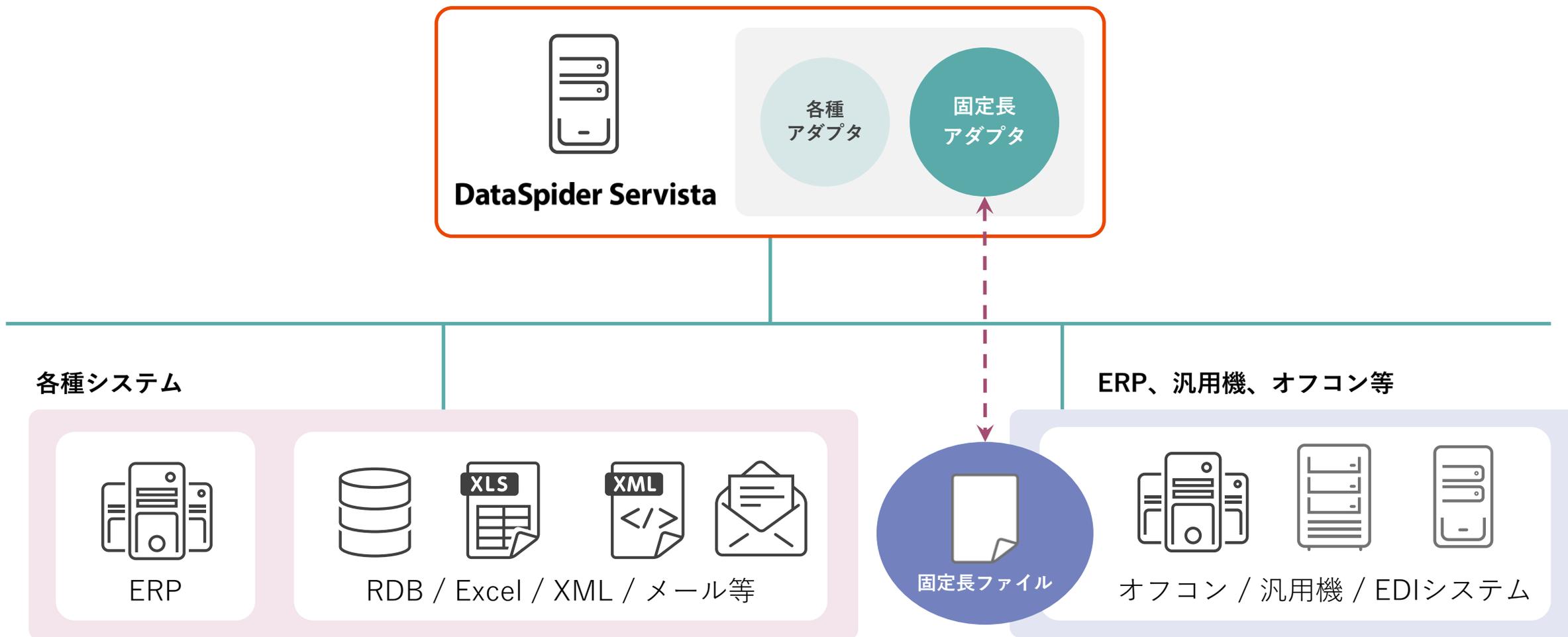
主な特徴

- 固定長ファイルの構造定義をGUIで設定可能
- ゾーン10進、パック10進を扱うことが可能
- 構造定義のインポート/エクスポートが可能
- フィールド単位で文字セットを設定可能



製品構成と連携イメージ

固定長アダプタ製品構成と連携イメージ





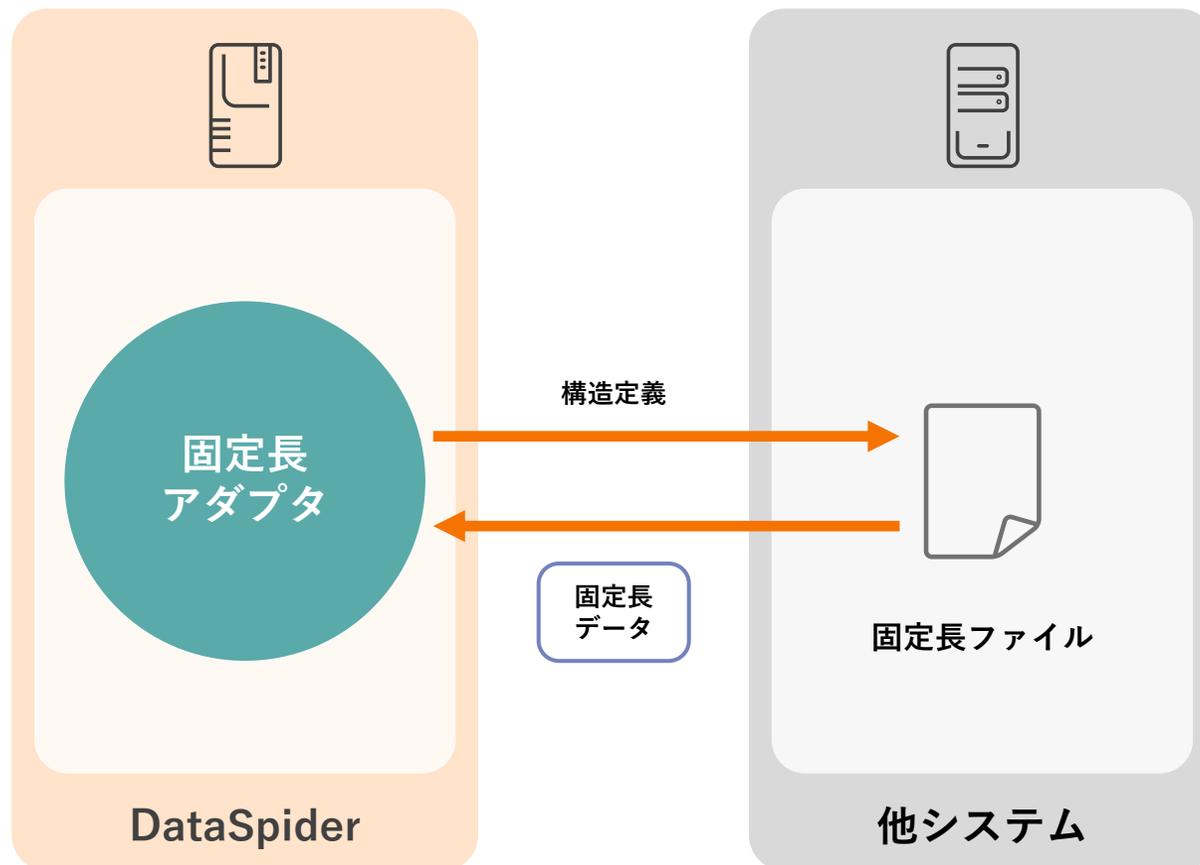
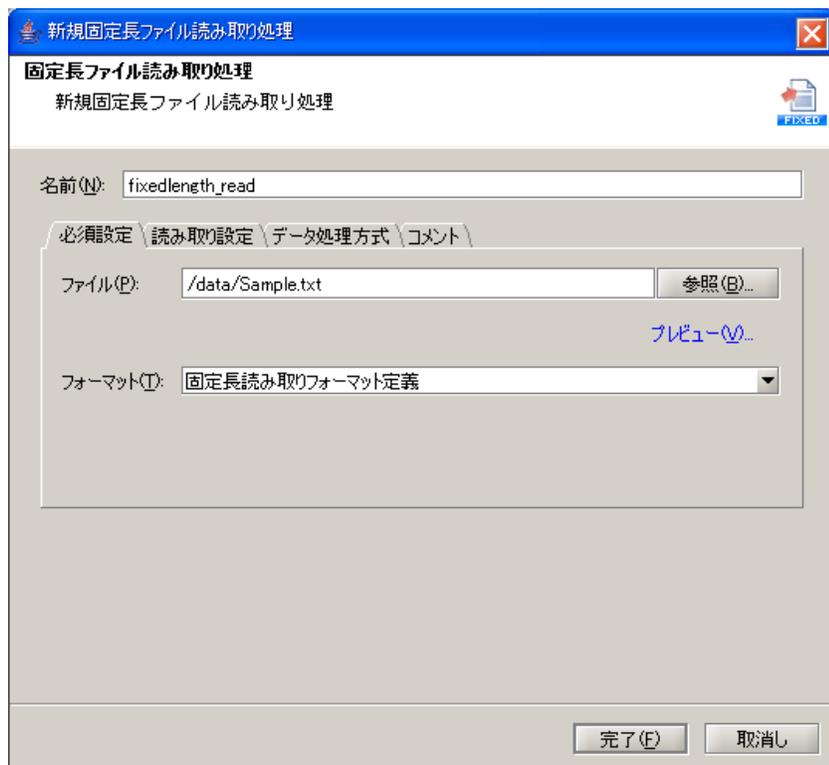
各種処理の設定

※当資料のスクリーンショットは、DataSpider Servistaを使用して取得しています。

固定長ファイル読み取り処理

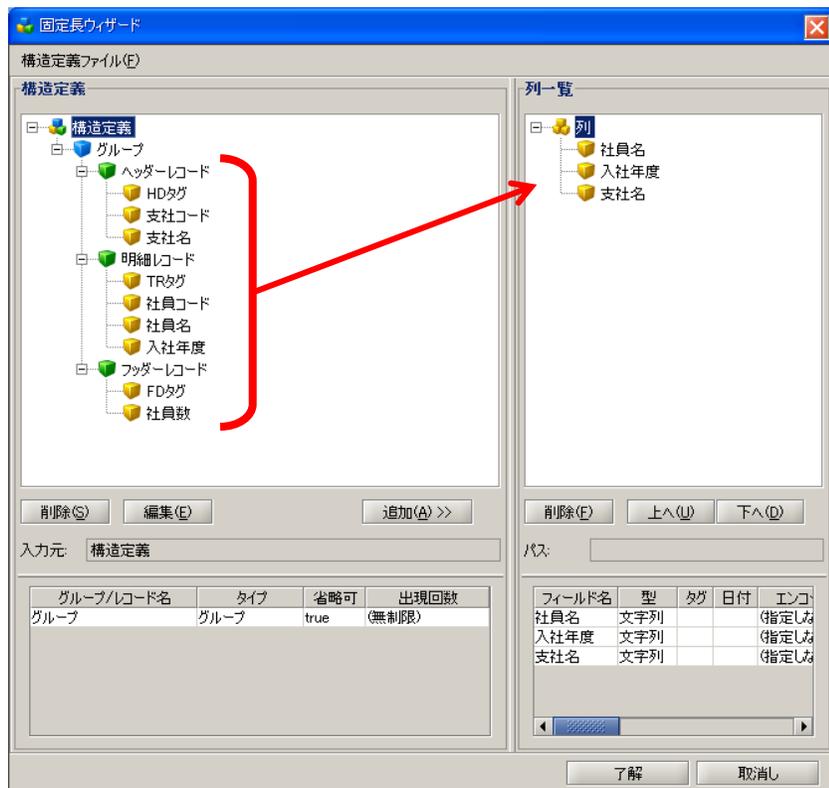
固定長ファイルを読み取ります。

固定長ファイルの構造定義は固定長ウィザードで設定します。



固定長ウィザード

読み取る固定長ファイルの構造を定義すると、定義に沿ってファイルを読み取ります。
固定長データのうちデザイナーで使用するフィールドを列一覧に登録します。

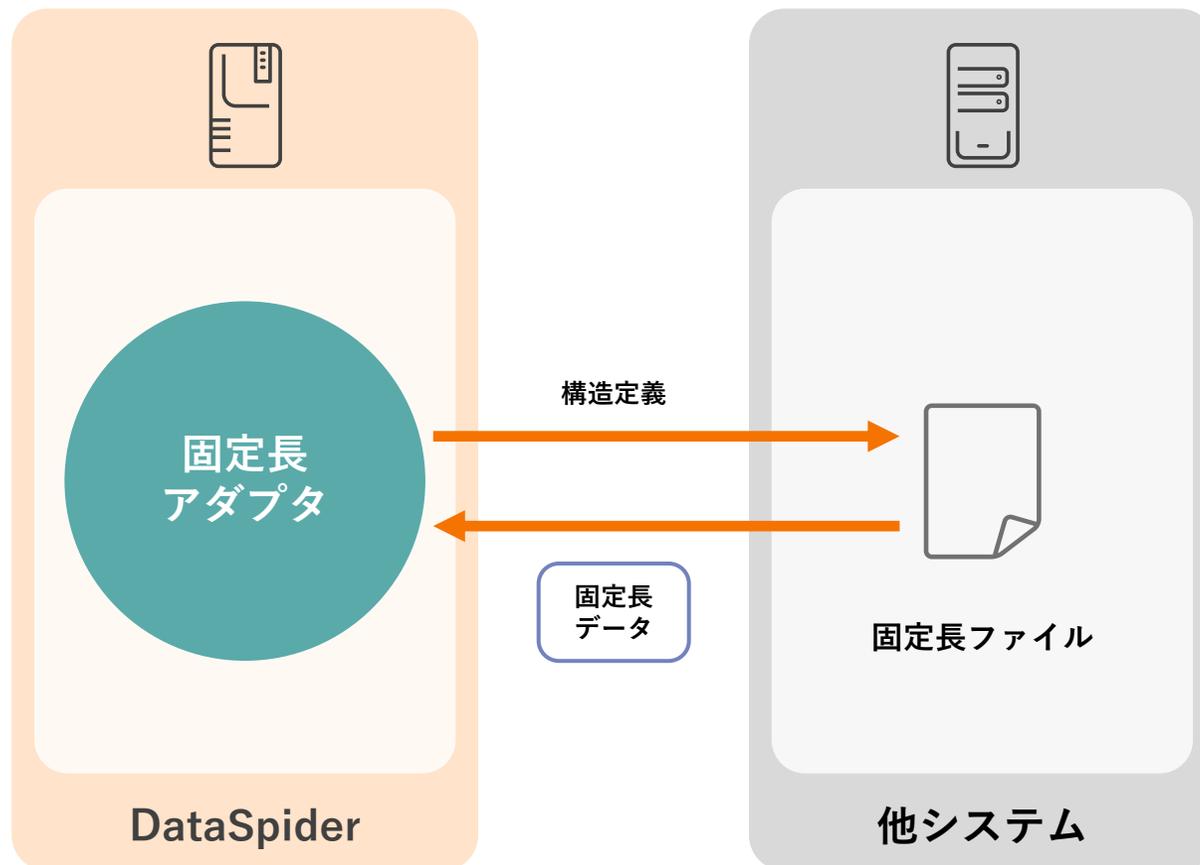


- 項目ごとにフィールド長、サプレス文字を設定
- 項目ごとにエンコードの指定が可能
- 複数レコードをグループとして定義可能
- 列一覧に登録したフィールドが Mapper の入力スキーマに表示されます

固定長ファイル書き込み処理

固定長ファイルを書き込みます。

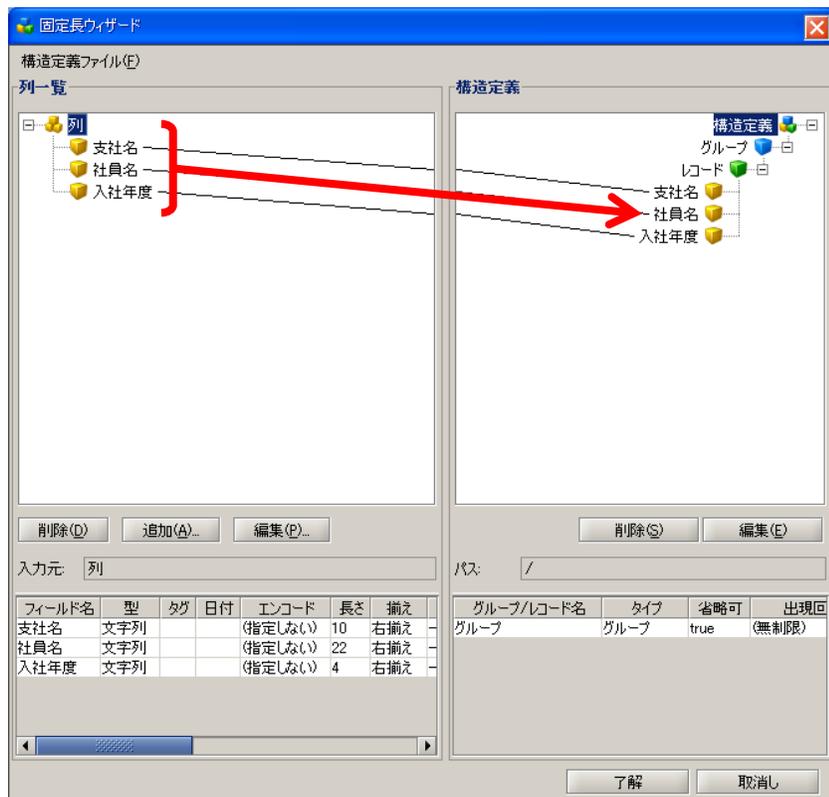
固定長ファイルの構造定義は固定長書き込みウィザードで設定します。



固定長書き込みウィザード

入力データから固定長データを作成するために必要な構造を定義します。

入力データの構造を列一覧に定義し、構造定義のフィールドにドラッグ&ドロップで登録します。



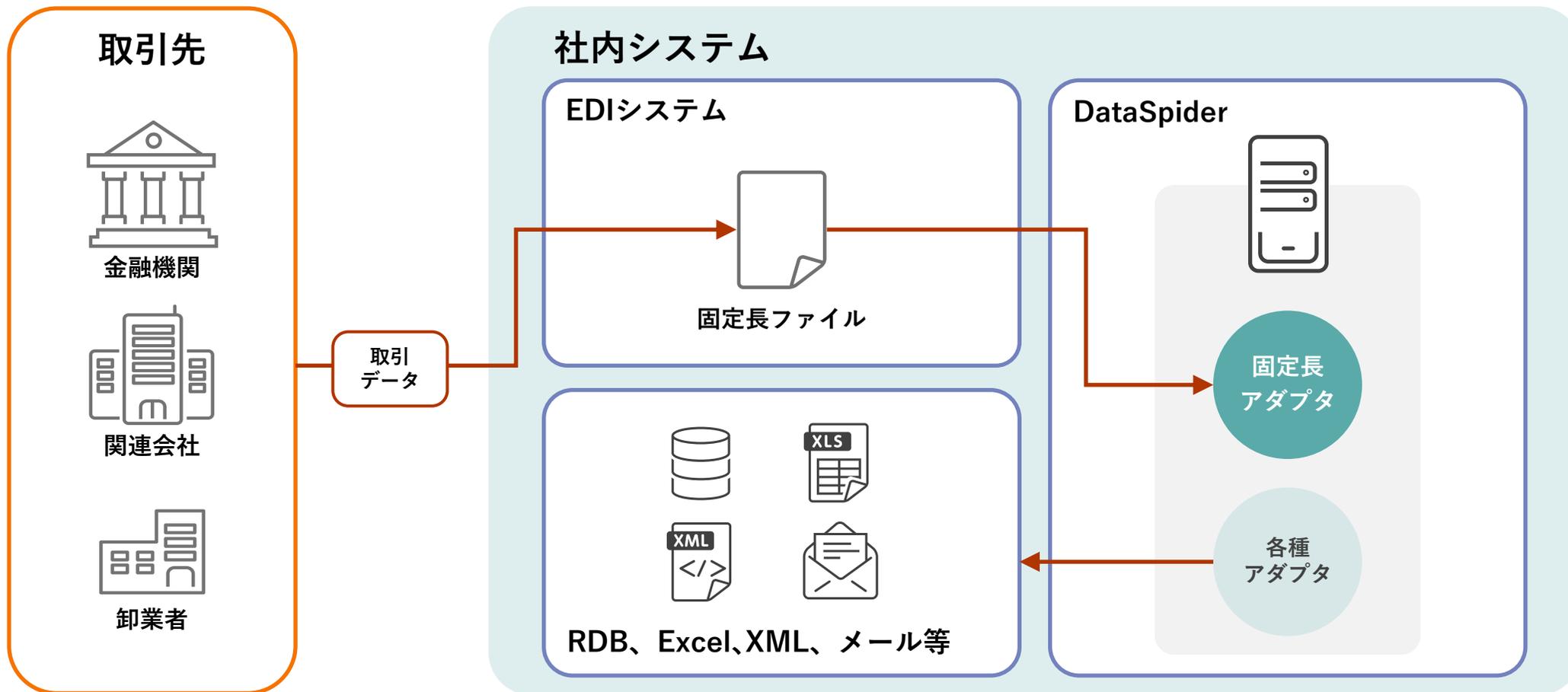
- フィールドごとにエンコードの指定が可能
- 複数レコードをグループとして定義可能



適用パターン

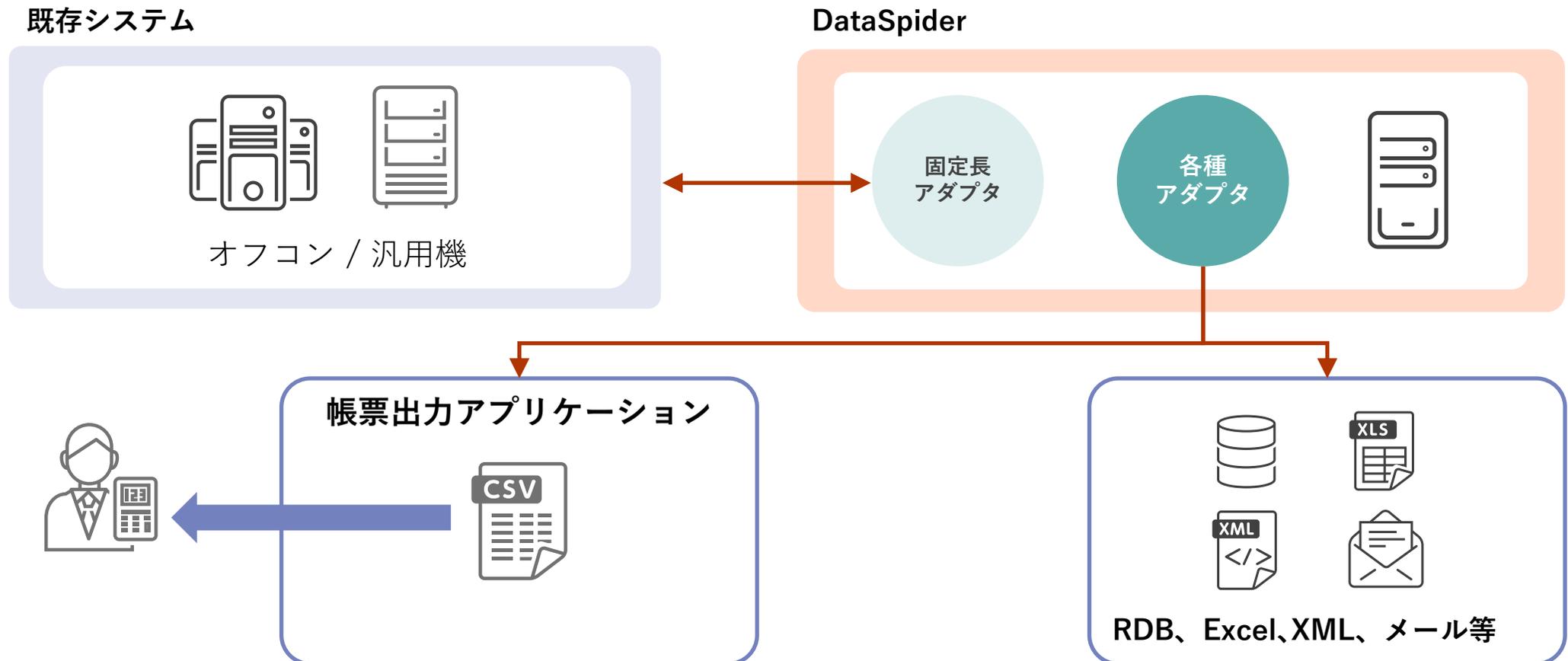
受発注システム構築時のEDI連携に

EDIシステムから受け取った固定長ファイルを社内の他システムに連携



汎用機やオープン系システムのデータを統合し帳票などに出力

汎用機やオフコン上の基幹業務データを抽出し、変換／統合してオープン系システムに連携したり帳票出力用のファイルを作成できます。





HULFT

Move knowledge. Move markets.